

NEWS 01

## THEによる2つのランキングが発表

イギリスの高等教育専門誌『Times Higher Education (THE)』では、多角的に大学を評価するさまざまなランキングを発表しています。

### THE世界大学ランキング日本版2020

2020年3月、THEが公開した「世界大学ランキング日本版2020」において、東洋大学は総合64位に選出され、前年の73位から順位を9つ上げました。このランキングは、大学の教育環境や学生の学びの質、成長性に注目し、「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野16項目を指標として作成されます。本学では「教育充実度」の項目で全体14位と特に高く評価されました。この項目は在学生と高校教員への評判調査の結果から、どれだけ教育への期待が実現されているかを表しており、本学で学ぶ学生たちに充実した教育を届ける環境が整っていることを証明するかたちになりました。また、「国際性」の分野では全体で31位にランクイン。スーパーグローバル大学として、日本の大学の国際化を牽引する本学の取り組みが評価された結果となります。本学はこの結果に甘んじることなく、さらなる教育環境の拡充に努めていきます。



総合順位	総合スコア	教育リソース	教育充実度	教育成果	国際性
64	55.0	—	79.5 (14位)	48.9	70.7 (31位)

### THE大学インパクトランキング2020

4月には同じくTHEが「大学インパクトランキング2020」を公開。こちらは2019年に新たに創設されたランキングで、国連が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の枠組みを通して、大学の「社会貢献度」を可視化するものです。ジェンダーの平等や健康と福祉などSDGsが掲げる17の目標に合わせて、大学がもたらす社会的・経済的インパクトの尺度を設定。本学は「SDG8:働きがいも経済成長も」、「SDG16:平和と公正をすべての人に」などの項目が評価され、世界中で806機関が参加するなか総合401～600位、国内63大学エントリー中総合20位タイという結果でした。人類が直面する社会問題の解決を目指し、幸せな未来を創り出すSDGsの取り組みは、まず一人ひとりが興味関心を持つことが大切です。本学の取り組みが広く伝わることで在学生のみならず、卒業生や高校生などが社会問題の解決に関心を持つきっかけにつながることを期待しています。そして、未来を生きる学生が学ぶ場所としての責任を持ち、引き続き諸課題への取り組みを推進していきます。



<本学の目標別ランキング>

<b>8</b> 働きがいも経済成長も 	世界 201-300位 国内 12位タイ	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に 	世界 201-300位 国内 7位タイ
<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを 	世界 201-300位 国内 12位タイ	<b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう 	世界 201-300位 国内 12位タイ

<b>総合順位</b> 世界 401-600位 国内 20位タイ
--

※各目標毎にエントリー数、ランクイン数は異なります。

NEWS 02

## 哲学堂公園が国の名勝に指定

本学創立者 井上円了によって創設された哲学堂公園(東京都中野区)が、2020年3月に国の名勝に指定されました。

名勝とは、文化財保護法に基づいて芸術上または観賞上価値が高い公園・庭園や自然の景勝地などを文部科学大臣が文化財として指定するもので、今回国指定名勝となった哲学堂公園は、1904(明治37)年に精神修養や社会教育の場として哲学をモチーフにつくられました。

公園の中心には、哲学の時間空間を表現した場所とされる時空岡があり、東洋哲学から釈迦と孔子、西洋哲学からソクラテスとカントが祀られた四聖堂や聖徳太子や菅原道真など東洋の6人の賢人を祀った六賢台、円了の蔵書を中心とした図書館として設置された絶対城など、ユニークなデザインの古建築物群が存在。園内のいたるところに哲学にちなんだ名称をもつ施設があります。

同月23日には、中野区が制作した映像「国指定名勝 哲学堂公園『井上円了と哲学堂公園～現代を生き抜く哲学のすすめ～』」が公開されました。こちらの映像は、本学ライフデザイン学部の三浦節夫教授が制作協力をして出演しています。ドローンによる空撮映像など、哲学堂公園の魅力をぜひお楽しみください。



国指定名勝 哲学堂公園「井上円了と哲学堂公園～現代を生き抜く哲学のすすめ～」

検索



NEWS 03

## 放鷹による害鳥駆除を白山キャンパスで実施

2020年6月10日、白山キャンパスにて放鷹による害鳥の駆除を行いました。白山キャンパスは、周辺の公園などを餌場とするハトが屋上などに住み着くことがあり、昨年の春頃から鳥糞の被害が報告されていました。今回、害鳥駆除作業を依頼した株式会社GreenField(グリーンフィールド)の担当 江頭さんは、鷹の飼育・訓練を専門とする鷹匠。害鳥が住み着きそうな場所に、訓練した鷹を飛ばして威嚇し、「ここに住み着くことは危険」と認識させて追い払う「放鷹」という手法で駆除をしていただきました。



「鷹による害鳥駆除は、薬剤や超音波を使用した方法とは異なり、周辺環境や人体への影響がなく、また、剣山や防鳥ネットのように外観を損なうこともありません。」と放鷹のメリットを話す江頭さん。駆除作業は2時間程度で、8号館の屋上から害鳥が住み着きそうなポイントに放鷹し、キャンパス近くにハトの溜まり場や餌場がないかも確認していただきました。今後も環境に配慮しながらキャンパスの美化に取り組んでいきます。

## INFORMATION 国による高等教育の修学支援制度(2020年度秋在学採用について)

2020年4月から日本学生支援機構の給付型奨学金と大学による授業料等減免からなる国の経済支援制度が始まりました。支援対象は原則として住民税非課税世帯およびそれに準じる世帯の学部生です。本制度の詳細につきましては文部科学省特設Webページにてご確認ください。2020年度秋在学採用については詳細が判明次第、本学Webページ等でお知らせいたしますので、適宜ご確認くださいませようお願いします。